

宝塚市協働のまちづくり促進委員会 協働の仕組みづくり検討部会(第7回・第2期第1回) 会議録	
開催日時	平成28年7月5日(火) 18:30~20:30
開催場所	宝塚市役所3階 特別会議室
次 第	1 開 会 2 議事録 宝塚市協働のまちづくり促進委員会(第13回)議事録 3 議 事 (1) 検討事項について (2) 部会の進行について 4 その他 5 閉 会
出席委員	久委員長、飯室委員、石谷委員、加藤委員、熊澤委員、古村委員、高松委員、中山委員、檜垣委員、足立委員、壹岐委員、古泉委員、原田委員、立花委員、土屋委員
開催形態	公開(傍聴人0)

1 開会

第7回・第2期第1回宝塚市協働のまちづくり促進委員会協働の仕組みづくり検討部会の開会。

事務局から、本日の委員出席者数は15人、欠席者は1人であり、過半数の出席要件を満たしているため、会議が成立していること及び傍聴希望者がいないことを報告した。

新委員である加藤委員の挨拶。その他委員の挨拶。

2 議事録

宝塚市協働のまちづくり促進委員会(第13回)議事録については、修正等の意見はなし。引き続き、平成28年7月26日(火)に開催される協働のマニュアル策定部会において、マニュアル策定部会員へ議事録の修正確認後、確定稿とすることとなった。

3 議事

(1) 検討事項について

事務局より、今後の検討事項について、まちづくり協議会の「運営のガイドライン」の策定を提案し、事務局の骨子案を示した。その後、「ガイドライン」を含めた検討事項について、意見交換、質疑応答及び久会長からの補足説明等があった。

ア【会長意見】事務局案が考えている「ガイドライン」は、マニュアルに近いものである。イメージしているのは、民主的に運営するためのチェックシートのようなガイドラインである。

イ 市として、まちづくり協議会すべての運営を把握しないまま、ガイドラインの提案

をするのではなく、きちんと実態把握をしてほしい。

ウ【会長意見】ガイドラインのイメージとしては、仕組みづくり検討部会第1期まとめP25、P26「1 こんなまち協だったらいいな」に近い。大学でも「PDCA」(Plan(計画)、Do(実行)、Check(評価)、Action(改善))のチェックが求められている。マニュアルのような細かいものではなく、自己点検評価できるガイドラインができればと思う。

エ きちんとしたガイドラインや条例を策定することで、組織がきちんと運営できると思う。

オ すべての協議会がうまく運営できているわけではない。そのため、チェックリストは必要。

カ【会長意見】「宝塚市自治組織のあり方に関する報告書」においても、自治会の運営はあくまで「自治」であるため、あえて触れていない。一方で、まちづくり協議会は市の主導のもと作ったため、あり方を提言した。自治会とまちづくり協議会の関係はそれぞれの地域のやり方があると思う。そのため、チェックシートのようなガイドラインが必要である。

キ 「まちづくり協議会」について、すべての人に理解してもらわないといけない。

ク【会長意見】「まちづくり協議会」については、ガイドラインの最初に入れてはどうか。おおまかな組み立てとして、①まちづくり協議会の位置づけ②運営のチェックシート、にしてはどうか。チェックシートとしては、仕組みづくり検討部会第1期まとめP25、P26「1 こんなまち協だったらいいな」のB、C、Dをベースに検討できたら良いと思う。次回については、意見交換をしながら、B、Cについて集中審議していったらと思う。

(2) 部会の進行について

ア 部会の進行についての詳細は、今後の審議内容次第で決定する予定。

4 その他

ア 事務局より、「協働のマニュアル」冊子が完成した旨、連絡を行った。また、協働のまちづくりプロジェクトチームについて、メンバーの紹介を行うとともに、市民説明会の準備の進捗状況について報告を行った。

5 閉会